

# 大阪空港 到着口を集約

## 改修し一部4月18日開業

### 商業区域にワインバルなど30店



4月18日に開業する大阪空港屋上エリアのイメージ図。イベントなどにも使えるという



大阪空港商業区域のイメージ図

関西エアポート（大阪府泉佐野市）は30日、運営する大阪（伊丹）空港で2020年8月の全面開業を指して改修中のターミナルビルのうち、中央エリアと

屋上エリアが今年4月18日に先行オープンすると発表した。南北2カ所に分かれていた到着口を中央に集

約。空港では世界初となる醸造所併設のワインバルなど30店が入る商業区域もあり、搭乗客以外にも楽しめるという。

改修は、新関西国際空港会社が16年2月に着工。同4月から運営を担っている関西エアポートが、利便性と収益力の向上を図った。

到着口は南北の各棟1階から中央エリア2階にまとめ、モノレールの駅と高架橋でつなぐ。バス、タクシー乗り場も近くに集めた。

商業区域は1〜5階で、飲食・物販など30店のうち26店が新規出店。「ホテルラ・スイート神戸ハーバ

ーランド」直営のスイーツ&ベーカリー「ル・パン神戸北野」や、大阪創業の老舗喫茶店「丸福珈琲店」などが入る。4階の屋上エリアは滑走路側に約20メートル出し、現在の約1.5倍に。親子向け遊戯施設「ボーンランドあそびのせかい」などが店を構える。

また一般車の混雑対策として、ターミナルビル前道路に、昨年11月に設置した降車専用レーン（12台）に加えて、送迎専用レーン（42台）も設ける。

（伊丹昭史）